

企業 / 事業所名	オムロン ヘルスケア株式会社
所在地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地
業種	家庭用・医療用健康機器の開発・販売、健康管理ソフトウェアの開発・販売、健康増進サービス事業の展開など
従業員（常勤）	430 人（430 人）
認証歴 / 受賞歴	平成 2 7 年度～令和 8 年度、平成 2 9 年度特別賞、令和 2 年度優秀賞
健康づくりに 関する取組	従業員の運動に関する取組 内容：年 1 回以上の社内ウォーキングイベントの実施と情報発信 目的：従業員の運動習慣の定着と健康増進、部署や拠点を越えたコミュニケーションの活性化 頻度：2009 年以降、年間 1 回以上毎年開催。2025 年度は海外駐在員も参加対象とし、グローバルでのウォーキングイベントを展開。 方法：社員および派遣社員を対象に自社の活動量計を無償配布し、自社アプリ「オムロンコネクト」を活用したウォーキングイベントを開催。合わせて、社内看護職が作成したオリジナル運動動画の配信や、運動・健康に関する情報発信を行い、継続的な運動実践を支援している。 成果：ウォーキングイベントへの継続的な参加により、従業員の運動意識向上や運動習慣の定着につながっている。また、本社である桂川事業所では定時後に有志で集まって歩くウォーキング企画も実施し、部署や世代を超えた交流機会を創出するなど、健康増進とコミュニケーション活性化の両面で効果を上げている。 従業員の栄養・食生活に関する取組 内容：独自の高血圧対策メニュー「オムゼロランチ」の提供 目的：「従業員に貢献する社員食堂」をコンセプトに、社員がいきいきと働ける職場環境づくりを目指し、健康的なメニューの開発・提供を通じて、従業員の健康維持・増進および生活習慣病予防の推進 頻度：夏季休暇および年末年始を除く営業日に毎日提供 方法：1 食当たり塩分量 3.5g 未満かつカリウム 800～1,500mg を両立したオムロンヘルスケア独自の高血圧対策メニュー「オムゼロランチ」を提供している。また、季節や健康課題に応じた月替わりの健康テーマを設定し、それに沿った健康メニューや情報発信を実施。 成果：2025 年度末に実施した健康経営アンケート（桂川事業所以外も含む全員対象）では、「オムゼロランチ」を積極的に選択した従業員は 34.3%。数量限定で提供しているため利用機会に制約がある中、利用者の 57%が体調改善や健康意識の向上を実感したと回答しており、健康的な食行動の促進につながっていることが確認できた。健康的な食行動の促進につながるとともに、従業員の健康意識向上や生活習慣改善のきっかけとなっている。 従業員の休養・睡眠に関する取組 内容：従業員の睡眠に関する取組み

	目的：従業員の睡眠の質向上を通じて心身の健康維持・増進を図り、日中の生産性向上やメンタルヘルス不調の予防につなげることを目的としている。 頻度：年間を通じて継続的に実施。健康セミナーや健康情報配信を定期的に行うほか、健康増進イベントや安全衛生活動と連携して啓発を実施している。 方法：健康管理支援ツール「Pep Up」を活用した睡眠改善プログラムを実施し、従業員が自身の睡眠習慣を振り返りながら行動改善に取り組める環境を整備している。安全衛生委員会での保健師講話、月別の健康情報など、睡眠に関する情報発信を行っている。さらに、健康セミナーの参加促進策として快眠グッズを参加賞として配布、睡眠への関心向上を図っている。 成果：睡眠に関する正しい知識の習得や自身の睡眠習慣を見直すきっかけづくりにつながっている。セミナーや情報発信を継続することで従業員の睡眠に対する関心が高まり、休養の重要性に対する理解促進や健康意識の向上に寄与している。 従業員の男女で異なる健康課題に関する取組 内容：女性特有の健康課題やライフステージに応じた健康管理 目的：女性特有の健康課題への理解促進と早期対応を支援し、従業員が心身ともに健康に働き続けられる職場環境の整備を目的として、女性の健康に関する取組を強化している。 頻度：通年で実施。乳がん・子宮頸がん検診は、従業員に加え派遣社員および従業員家族も対象として、事業所内で年1回実施している。 方法：乳がん・子宮頸がん検診の受診機会を提供するとともに、保健師や管理栄養士による女性の健康座談会を定期的に開催し、女性特有の健康課題に関する知識啓発や相談機会の充実を図っている。また、生理休暇の名称を見直し、新たに「マイヘルスケア休暇」を導入することで、月経関連の不調に限らず、更年期症状や性別を問わない健康上の理由でも利用しやすい制度として運用している。 成果：「マイヘルスケア休暇」の利用実績は延べ49件（同一従業員による複数回利用を含む）となっている。制度利用に関する相談も寄せられており、従業員が自身の健康状態に応じて休暇を取得しやすい環境づくりにつながっている。また、検診や座談会を通じて女性の健康課題への理解促進と健康意識の向上に寄与している。 その他従業員の健康づくりに関する取組 内容：血压管理の推進、ロコモティブシンドローム・転倒予防、メンタルヘルス対策、禁煙の取り組み 目的：高血圧に起因する脳・心血管疾患の発症ゼロを目指し、従業員一人ひとりの健康管理意識向上と行動変容を促進するため、社員および派遣社員を対象とした健康増進活動「オムロンゼロイベントチャレンジ」を年間を通じて実施している。また、血压管理に加え、転倒予防やメンタルヘルス対策、禁煙にも取り組み、従業員の健康維持・増進と安全でいきいきと働ける職場環境づくりを推進している。 頻度：年間を通じて継続的に実施。
--	---

	方法： ① 血圧管理の推進 社員全員に血圧計を無償配布するとともに、事業所内に血圧測定ステーションを設置し、職場でも日常的に血圧を測定できる環境を整備している。また、定期的な測定イベントや情報発信を通じて、家庭血圧測定の習慣化を推進している。 ② ロコモティブシンドローム・転倒予防 定期健康診断時に立ち上がりテスト等によるロコモ度チェックを実施するとともに、健康情報の配信や啓発活動を通じて、運動機能の維持・向上および転倒予防に取り組んでいる。 ③ メンタルヘルス対策 ストレスチェックの実施に加え、メンタルヘルスに関する情報提供や相談窓口の周知を継続している。また、社員食堂においてストレス対策をテーマとした健康メニューを提供し、食を通じた心身の健康づくりを推進している。 ④ 禁煙の取り組み 経営トップによる「喫煙率ゼロ」を目指す社内宣言のもと、禁煙に関する情報発信や啓発活動を継続して実施。禁煙にチャレンジする従業員を対象に「卒煙プログラム」を展開し、禁煙継続に向けた支援の実施。 成果：血圧・転倒予防・メンタルヘルス・禁煙の各取組により、従業員の健康意識向上と行動変容につながっている。 ① 血圧管理の推進 社員の4割以上に家庭血圧の自律的な測定が定着している。また、血圧測定イベント実施時には約7割の従業員が測定に参加しており、健康管理意識の向上につながっている。 ② ロコモティブシンドローム・転倒予防 定期健康診断時のロコモ度チェックや健康情報の配信を通じて、従業員が自身の身体機能や転倒リスクを把握する機会を提供している。従業員の高齢化に伴い転倒リスクの増加が懸念される中、転倒予防や運動機能維持の重要性について継続的な啓発を実施し、従業員の安全意識向上や行動変容の促進につなげている。 ③ メンタルヘルス対策 2025年度のストレスチェック受検率は93.9%と高い水準を維持している。継続的な情報発信や健康施策を通じて、従業員のメンタルヘルスへの関心向上とセルフケアの促進につながっている。 ④ 禁煙の取り組み 長年にわたる継続的な禁煙・卒煙支援活動により、従業員の禁煙意識向上と行動変容につながっている。2025年度の全社喫煙率は4.9%となっており、従業員の健康増進や口腔健康リスクの低減に寄与している。
定期健康診断結果の提出先（実施年）	オムロン健康保険組合（令和7年度） 改善に向けた取組内容

度)・改善に向けた 取組内容	内容：従業員の疾病早期発見・早期治療および生活習慣病の予防・重症化予防 目的：定期健康診断を通じて従業員の健康状態を把握するとともに、特定健診・特定保健指導の実施や要精密検査対象者への受診勧奨を行うことで、疾病の早期発見・早期治療および生活習慣病の予防・重症化予防を図る。 頻度：定期健康診断を年 1 回実施。健診後は受診勧奨や年間を通した健康管理支援を実施している。 方法：労働安全衛生法に基づく定期健康診断を実施し、40 歳以上の常勤従業員の健診結果については特定健診・特定保健指導に必要な項目を医療保険者へ提供している。また、要精密検査対象者に対しては、受診率向上を目的にリマインドメールを最大 5 回送信するとともに、未受診者に対しては人事総務部長からの個別声掛けを行うなど、継続的な受診勧奨を実施している。さらに、健康診断結果を安全衛生委員会で共有し、職場全体の健康課題の把握と改善に活用している。 成果：定期健康診断受診率は 100%を維持している。また、要精密検査対象者への継続的な受診勧奨により、要精密検査受診率は 2021 年度 71.5%から 2025 年度 92.1%へ向上した。健康診断結果をもとに職場の健康課題を共有し、従業員の疾病予防や健康意識向上につなげている。				
がん検診受診状況 (事業申請なし)	肺がん -	大腸がん -	胃がん -	子宮頸がん -	乳がん -
各種団体との連携	内容：向日市や京都市と連携した地域住民への健康増進活動 頻度：産官学連携協定に基づき通年で実施。健康ポイント事業への参画や健康啓発イベントへの協力を毎年継続している。 目的：自治体と連携し、市民の健康づくり活動を支援するとともに、地域住民の健康意識向上や健康行動の促進を通じて、地域全体の健康増進に貢献することを目的としている。 方法：向日市と「市民の健康づくりに関する産官学連携協定」を締結し、市民向け健康づくり事業に参画している。毎年「向日市健康ポイント事業」へ協力し、目標達成者や応募者への抽選賞品として自社の健康機器を提供している。また、向日市や地域関係団体が主催する健康啓発イベントに協力し、循環器疾患予防や健康管理に関する啓発活動を実施している。 結果：健康ポイント事業への継続的な協力を通じて、市民の運動習慣や健康づくりへの参加促進に貢献している。また、2026 年 6 月に開催された向日市民向けの心電啓発イベントには約 60 名が来場し、地域住民が健康について学び、健康管理の重要性を考える機会の創出につながった。自社の循環器領域における知見や健康機器を活用し、地域住民の健康寿命延伸に向けた取組を推進している。今後も自治体や地域団体との連携を通じて、地域の健康づくり活動を支援していく。				
退職前・退職時の 健康づくり指導	(事業申請なし)				

健康づくり担当者の設置・組織的な取組内容	・健康経営推進責任者である社長が健康経営方針を社内外へ発信し、健康経営を重要な経営課題として位置付けている。毎年、健康診断結果や各種指標を分析し健康課題を明確化したうえで、役員会で施策の審議・決定を行い、PDCA サイクルに基づく継続的な改善を実施している。 ・産業医、保健師、看護職、管理栄養士、人事部門等による産業保健スタッフ会議を毎月開催し、従業員の健康課題の共有、対策の検討、施策の実行・評価を行うなど、多職種が連携した健康管理体制を構築している。 ・健康経営に積極的に取り組む企業で構成される「Kenko 企業会」の理事企業として、他企業との情報交換や好事例の共有、新たな施策の検討を行い、健康経営の質の向上に努めている。 ・「禁煙推進企業コンソーシアム」に参画し、喫煙率低下や受動喫煙防止に関する情報収集・情報発信を通じて、禁煙施策の強化を図っている。 ・これらの取組が評価され、健康経営優良法人「ホワイト 500」に 10 年連続、スポーツエールカンパニーに 8 年連続で認定されるなど、継続的な健康経営の推進につながっている。
受動喫煙対策	健康増進法に基づく受動喫煙防止対策の必要な措置を講じている。
違反規定	過去 5 年間に重大悪質な事案により、法令違反し処分等を受けたことがない。
ホームページ	https://www.healthcare.omron.co.jp/